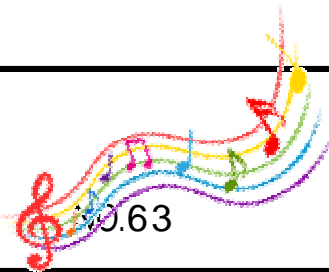


# 学年だより



荒川区立  
南千住第二中学校  
第三学年  
令和元年 10 月 30 日

## やってきたぜ霜月祭！ やってやるぜ霜月祭！

ついに南二中の中で、大きな行事の1つである「霜月祭」がやってきました。9月に霜月祭実行委員会が立ち上がり、実行委員長に3年1組の女子、副委員長に3年1組の男子、書記に3年1組の女子がなり、この3人を中心として実行委員を引っ張り、霜月祭への準備が始まりました。

始まってみると、2週間なんてあっという間に終わってしまった！というほど一瞬で霜月祭はやってきました。霜月祭に向けて、早くから力を入れて学年が取り組んできたのは、学年合唱の「河口」です。昨年度までとは打って変わって、クラス対抗ではなく、学年の団結力を見せるために、今年度は学年合唱となりました。30人程度のクラス合唱とは違い、120人の生徒が集まって歌を歌うことは、とても難しい取り組みとなりました。今回歌った「河口」という曲は、全五楽章からなる合唱曲のうちの最後の曲です。一滴の雨粒を私たち一人一人に例え、それらが集まり川となって、様々な苦難や喜び、楽しみを通して大きな海へ、つまり大きな世界へ旅立っていくことを表した歌です。3年生である生徒たちだからこそ歌うことのできる、素晴らしい曲である反面、難しい曲でもありました。そのため、音楽の授業はもちろんのこと、全体の取り組みを始める前にコーラス隊を結成し、コーラス隊は約1か月前から昼休みの時間も使って練習に取り組んできました。コーラス隊が他の生徒たちを引っ張り、全体で取り組みを始めたのは2週間前からです。その最初の時間には、コーラス隊がみんなに向けて河口のコーラスを見せてくれました。そこから各パートの練習が始まり、とても難しい音程に、音域に、リズムにと何度も自分のパートの音がわからなくなり、何度も繰り返し練習を重ねてきました。1年生の前で合唱を披露した際には、その時一番の歌声を披露することができ、学年教員全員がこみ上げるものを感じたのを覚えています。



コーラス隊の発表を行いました

霜月祭・音楽の部が始まると、まず1年生が元気な歌声を聞かせてくれました。続いて2年生は素晴らしいハーモニーを聞かせてくれました。下級生が良い合唱をする度に、3年生の緊張も高まってきました。そして、3年生の番になり、全員が緊張いっぱいのまま移動し定位置につくと、指揮者が、自分の手に書いたメッセージでみんなの緊張を少しほぐしてくれました。そしてその緊張感の中で歌われた「河口」は、今まで練習してきた「河口」の中でも最高の仕上がりとなりました。観客のみなさんからも、終わった瞬間に拍手をいただくことができました。教員も学年を超えて、みなさんが涙ぐんでくださるほど、歌声や合唱から3年生の気持ちを感じました。それぐらい、3年生のみなさんの合唱は素晴らしかったです。

ご家族の方々に披露をした「河口」は、どのように聞こえましたでしょうか。生徒たちの気持ちが、多くの人々の心に響いていたら大成功だと思っています。ぜひ感想を生徒たちに直接伝えてあげてください。そして歌い切った生徒たちの心にはどう残ったのでしょうか。ぜひお家の人や教員に教えて下さい。本当に素晴らしいという言葉以外出てこないほど、素晴らしい合唱でした！おつかれさまでした！



感動して全員と握手をする校長先生